

令和4年度 年間授業計画

都立田無工業高等学校

教科・科目		数学 数学A			単位数	2
対象学年・組		3学年全クラス	教科担任	MA:大野木 MB:大野木 AA:大野木 AB:大野木 CA:大野木		
教科書 ・ 副教材		数学A Standard StandardBuddySTAGE 数学A				
1. 目標						
・基本的な事項を自主的な思考活動で身につけさせる。 ・指導すべき基本的な事項を精選をする。 ・様々な問題を扱い、生徒各々が興味・関心をもてるような授業を展開する。						
2. 学習内容と学習上の留意点						
学期	月	単 元	指導内容・指導目標			予定時数
1 学 期	4	集合 集合の要素の個数 和の法則・積の法則	共通部分、和集合、空集合、全体集合、補集合について理解している。ものを数え上げるのに集合を利用することができる。和の法則・積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。			4
	5	順列・組合せ	場合の数を順列・組合せの考えを利用して求めることができる。			6
	6	確率・確率の計算	確率の定義を理解し、確率を求めることができる。 集合を活用し、確率を求めることができる。 排反事象・余事象を理解し、確率を求めることができる。			8
	7	独立な試行と確率 条件付き確率	反復試行の確率を求めることができる。 条件付き確率を求めることができる。			4
	1学期授業時数計					22
2 学 期	9	図形の基本 角の二等分線と線分の比	図形の基本性質を理解している。 角の二等分線と線分の比の定理を理解し、それらを用いて辺の長さを求めることができる。			8
	10	三角形の外心・内心・重心	三角形の外心、内心、重心の性質を理解している。			4
	11	円周角の定理	円周角の定理を理解し、角の大きさを求めることができる。			8
	12	円に内接する四角形 円の接線	円に内接する四角形の性質・接線と弦のつくる角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。			4
	2学期授業時数計					24
3 学 期	1	方べきの定理 2つの円	方べきの定理を理解し、線分の長さを求めることができる。 2つの円の位置関係を理解している。			3
	2					0
	3					0
	3学期授業時数計					3
年間授業時数合計						49
3. 評価の観点・方法						
・定期考査の得点で学習の理解度を評価する。 ・授業態度、小テスト、提出物の取り組みを評価する。 ・学習状況を総合的に評価し単位修得を認定する。						